



小6の息子 中学生活に不安抱える

3人きょうだいの末っ子の小学6年の息子についての相談があります。来年春に中学生になりますが、6年上がる前から中学校進学後の生活に大きな不安を感じています。

勉強や部活動だけでなく学校行事なども全てハードに思っているようで「自分にできるかどうか」とプレッシャーを抱えています。「自分は心配性だから」と学校も休みがちです。

中学校生活を前向きに考えることができない今の息子に、どんな言葉を掛けて過ごしたらいいでしょうか。明るく元気な中学校生活を送ってもらいたいです。

先生、教えて!

子育て・教育相談コーナー



仙台市宮城野区

40代・自営業

からの質問

●回答してくれた人

畠山 明さん

はたけやま・あきら 気仙沼市出身。東北大学院修士。沼市を経て、1996年から個別教室のアップル・家庭教師のアップル(仙台市)代表などを務める。



このコーナーは保護者からの子育てや教育についての相談を募集しています。メール、郵送のほかQRコードから応募できます。

▷記入事項 氏名、年齢、職業、住所、家族構成、電話番号、メールアドレス

▷宛先 〒980-8660 河北新報社
こども新聞係。メールアドレスkyopro@po.kahoku.co.jp



中学生活への心配が尽きないお子さんのまじめで慎重な人柄が伝わってきます。

子どもの弱音を聴くときは、話すリズムやトーンを子どもの調子に合わせてあげると効果的。ペーシングといいます。落ち込んでいるときはそっと寄り添い、焦っていたらテンポよく対処する。ペースを合わせることで共感が高まり、子どもの不安が小さくなります。

新生活をしっかりとイメージできているのは、素晴らしいことです。心配性なのは「見通しを立てられること」「丁寧に準備できること」でもあります。その力を生かし、入学に向けてよりポジティブなイメージを育んでいきましょう。

話しやすい環境を整えて

おうちではぜひ、今後の目標や展望を楽しく語り合ってください。上のごきょうだいのお話を聞くのも心強いはずですよ。

「クラスや部活動でうまくなじめるだろうか」「勉強で失敗したくない」といった不安をベースに目標設定をすると、つらくなりがち。まずお子さんの良い面や好きなことに着目し、わくわくする目標を立ててください。将来の夢や高校入試も見据えつつ、あくまで自分ベースでのびのびと考えましょう。

「失敗しても大丈夫」という気持ちも大切です。中学生活は新しいチャレンジの連続。つまずいてもやり直せるしなやかで強い心を育むことが、やる気アップ、学力アップの秘訣です。